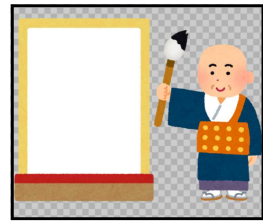


今年もあと2週間です

今年もあと2週間となりました。生徒の皆さんは、今年の初めに自分が立てた目標等をおぼえていますか。また、どれくらい実行できたでしょうか。まだ、2週間あります。今からでも実行できるものがあったら取り組んでほしいと思います。来年、よいスタートを切るために、ぜひこの1年をゆっくり振り返る時間をつくって、来年に生かしてほしいと思います。

先日、京都の清水寺で今年の漢字が発表され、「災」という漢字が選ばれました。日本全体を考えてみると、この漢字のように、酷暑や豪雨、台風や地震の自然災害が目立った1年でした。その中でたくさんの方が亡くなられたり、被害に遭われたりしました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方がなるべく早く、日常の生活に戻れるように願うばかりです。

さて、今年度も学校生活が始まって、4分の3である9か月が終わろうとしています。生徒の皆さんには、ぜひ学校生活も暁中学校の合言葉である「時を守り、場を清め、礼を正す」「凡事徹底」を視点として、振り返ってほしいと思います。「5分前行動ができたでしょうか」「清掃活動に積極的に取り組めたでしょうか」「礼をそろえるために、礼のしかたを意識しているでしょうか」「凡事徹底を決め、やり続けているでしょうか」など、この9か月を振り返り、できているものについては今後も継続し、できていないものは新年初めに立てる目標の中にぜひ入れてほしいと思います。



朝礼の様子

○ 生徒会役員より

今週一週間で今年の授業が終わります。残り一週間ですが、気を引きしめて中学生らしい生活を送りましょう。また、来週から冬休みに入ります。早めに冬休みの課題に取り組み始めましょう。

○ 伝達表彰

- 柔道部 第38回海部津島地区少年柔道大会
中学男子団体の部：優勝
中学男子1年の部：優勝・準優勝
中学男子2・3年の部：準優勝



○ 高橋先生の話

今日は友達との「距離感」について、お話します。

突然ですが、友達と遊びに出かけようと思って、次のように誘ったとします。「一緒に〇〇へ行こう。いいだろう?」。すると、友達はどう答えました。「行ってもいいよ」。あなたは友達からの答えをどのように受け取りますか。「いい」と言っているのですから、何も考えず、話を先に進めますか。それとも、「行きたい」という積極的な答えではないので、少し様子を見ますか。

表情や話し方、態度の違いから、友達が本当に行きたいと思っているのか、半々なのか、本当は行きたくないのかを読み取る力を付けたいものです。いくら友達とはいっても、自分と100%同じではないのですから、楽しいと思うこと、おもしろいと思うことが微妙に違うのです。そのことを意識できるようになっていくのが、中学生だと思います。最初のうちは、時にはうまく気持ちがやりとりできなくて落ち込むこともあるでしょう。また、強引すぎて、友達に嫌われることもあるかもしれません。しかし、そんな経験を通して、少しずつ友達とどのくらいのつきあいをしたらいいのか、つまり「距離感」を学んでいくのです。「距離感」が身に付けば、お互い不愉快に思うことが少なくなっていくと思います。そのうち、自分も友達も人として成長して、どのくらいの「距離感」が適当なのかを判断できるようになります。「行ってもいいよ」と答えた友達と遊びたいければ、「付き合ってくれるの、ありがとう」と声を掛けられたら、きっと友達も「僕も楽しみにしているよ」と答えてくれるはずですよ。



○ 「資源祭」について

生徒会役員より、18日(火)に実施する「資源祭」について説明が行われました。生徒会役員とボランティア委員会が、牛乳パック・アルミ缶・スチール缶・ペットボトル・エコキャップ・ベルマークを回収するにあたり、資源やベルマークについての話や回収方法などを全校生徒に伝えました。



